

Market Watching

発表日: 2019年10月21日(月)

材料不足で膠着状態継続か(マーケットウィークリー)

～政策対応で失速回避出来るとの期待はまだ崩れていない～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
10月14日(月)	中国: 貿易統計(9月)・輸出	▲3.2%	▲2.9%	▲1.0%	前年比
	・輸入	▲8.5%	▲6.0%	▲5.6%	前年比
	ユーロ: 鉱工業生産(8月)	+0.4%	+0.3%	▲0.4%	前月比
10月15日(火)	中国: 消費者物価指数(9月)	+3.0%	+2.9%	+2.8%	前年比
	米国: NY連銀製造業景気指数(10月)	+4.0	+2.3	+2.0	ポイント
10月16日(水)	米国: 小売売上高(9月)・全体	▲0.3%	+0.3%	+0.4%	前月比
	・除自動車	▲0.1%	+0.2%	0.0%	前月比
10月17日(木)	米国: 住宅着工件数(9月)	125.6	132.0	136.4	万件
	米国: 鉱工業生産指数(9月)	▲0.4%	▲0.1%	+0.7%	前月比
	米国: フィラデルフィア連銀製造業景況感指数(10月)	+5.6	+9.1	+12.0	ポイント
10月18日(金)	日本: 全国消費者物価指数(9月)・総合	+0.2%	+0.2%	+0.3%	前年比
	・除生鮮食品	+0.3%	+0.3%	+0.5%	前年比
	中国: 実質GDP(7-9月)	+6.2%	+6.1%	+6.2%	前年比
	中国: 鉱工業生産(9月)	+5.8%	+5.0%	+4.4%	前年比
	中国: 小売売上高(9月)	+7.8%	+7.8%	+7.5%	前年比
	中国: 固定資産投資(9月)	+5.4%	+5.5%	+5.5%	年初来前年比
10月19日(土)	—				
10月20日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.754	+2.5	▲18.9	▲130.1	1.593	1.647	2.039
日本	-0.155	+3.5	+3.5	▲30.5	-0.201	-0.201	-0.111
ドイツ	-0.382	+6.0	+12.8	▲79.8	-0.518	-0.515	-0.204
豪州	1.102	+8.7	▲3.5	▲162.4	0.999	1.068	1.545
株価							
NYダウ	26770.20	▲0.2	▲1.4	+5.5	26762	26648	26125
日経平均	22492.68	+3.2	+2.4	▲0.7	21903	21358	21338
ユーロSTOXX50	3579.41	+0.3	+1.5	+11.5	3523	3464	3389
上海総合	2938.14	▲1.2	▲1.6	+18.2	2955	2921	2925
為替相場							
ドル/円	108.47	+0.2	+0.0	▲3.3	107.86	107.37	109.07
ユーロ/円	121.10	+1.2	+1.2	▲5.8	118.69	119.08	122.28
豪ドル/円	74.36	+1.2	+0.4	▲6.6	73.05	73.31	76.05
ユーロ/ドル	1.1171	+1.2	+1.3	▲2.5	1.100	1.109	1.121
商品市況							
WTI	53.78	▲1.7	▲7.5	▲21.7	55.22	55.76	57.15
金	1488.2	+0.4	▲1.4	+21.0	1499	1482	1375

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (10/14~10/18) の金融市場は、方向感に欠け、横ばい圏内での推移となった。注目された中国の経済指標は市場の事前予想並みとなった一方、米小売売上高は市場予想を下回るなど、まちまちとなった。このほか、米中問題やブレグジットに関していくつかの報道があったが、市場の方向感を決定づけるようなものとはならなかった。株式市場では、決算発表が続くなか、個別中心の展開となった。

今週のマーケットは、ECB理事会が開催されるものの、金融政策の変更はないとみられている。注目度の高い経済指標の発表やイベントもなく、総じて前週同様に方向感に欠ける展開が続こう。株式市場では、決算発表が続くなかで引き続き個別銘柄中心の展開が見込まれる。ファンダメンタルズに対しては、景気が失速してリセッションに至るかどうかについて確証はないものの、米国の金融政策を中心に、政策対応余地がまだあるとの見方が市場を支えている。景気の循環的な動きからみたタイミングなどを勘案すれば、こうした見方による膠着状態は、まだしばらく続くものと予想される。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
10月21日(月)	日本：貿易統計(9月)・輸出 ・輸入 ・貿易収支	★★	▲3.6% ▲2.2% +540	▲8.2% ▲11.9% ▲1,435	前年比 前年比 億円
10月22日(火)	米国：中古住宅販売件数(9月)	★	545	549	万件
10月23日(水)	—				
10月24日(木)	スウェーデン：金融政策委員会 ノルウェー：金融政策委員会 ユーロ：PMI製造業景気指数(10月) トルコ：金融政策委員会 インドネシア：金融政策決定会合 ユーロ：ECB理事会・ECB主要政策金利 ・ECB預金ファシリティ金利 ・ドゥラギ総裁記者会見 米国：製造業受注(9月)・耐久財 ・非国防資本財(除航空機) 米国：新築住宅販売件数(9月)	★ ★ ★★ ★ ★ ★★★ ★★★ ★★★ ★ ★ ★	▲0.25% 1.50% 46.0 15.50% 5.00% 0.00% ▲0.50% ▲0.8% ▲0.1% 69.9	▲0.25% 1.50% 45.7 16.50% 5.25% 0.00% ▲0.50% +0.2% ▲0.4% 71.3	レボ金利 中銀預金金利 ポイント 1週間物レボ金利 7日物リハースレボ金利 前月比 前月比 万件
10月25日(金)	ドイツ：ifo景気動向指数(10月)	★	94.5	94.6	ポイント
10月26日(土)	—				
10月27日(日)	—				

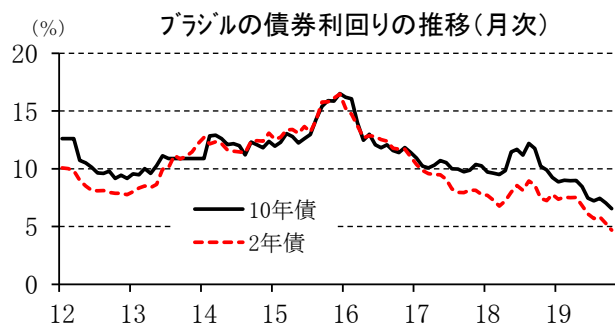
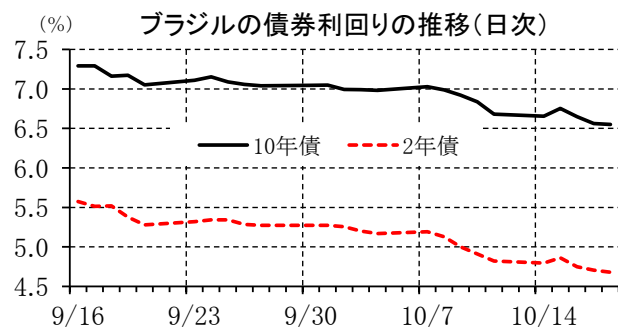
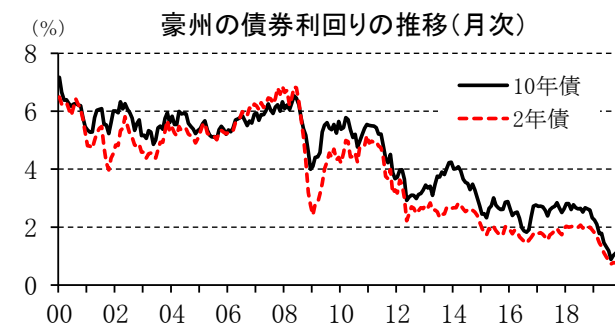
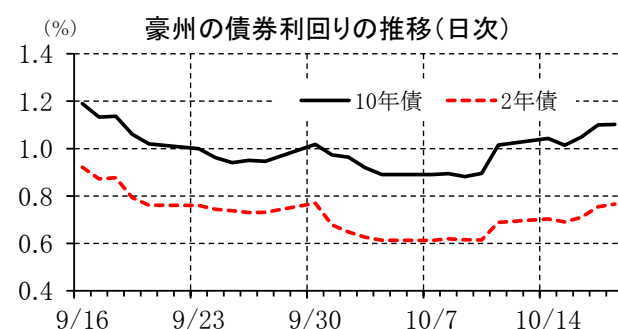
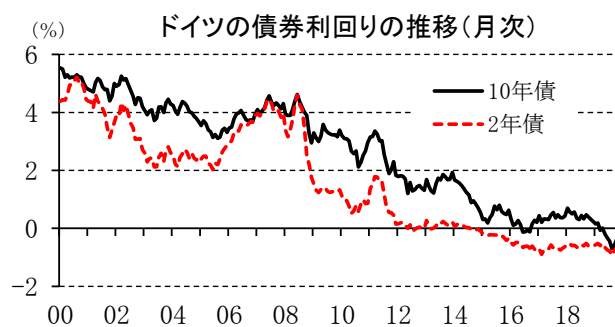
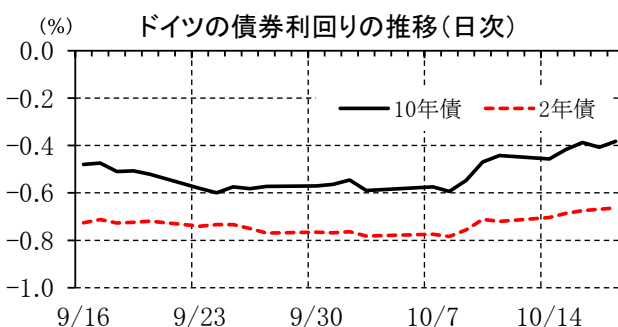
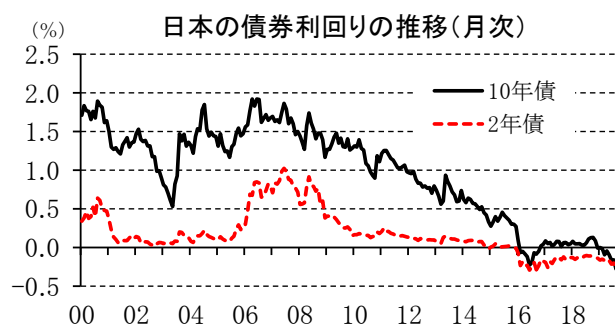
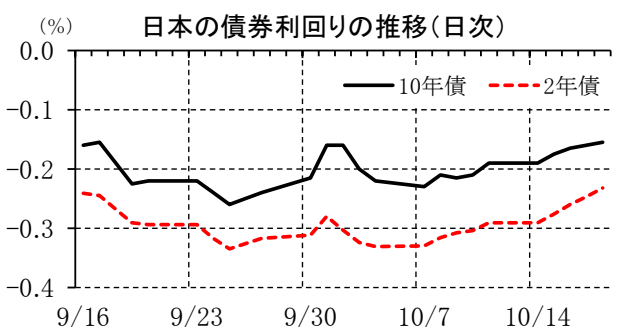
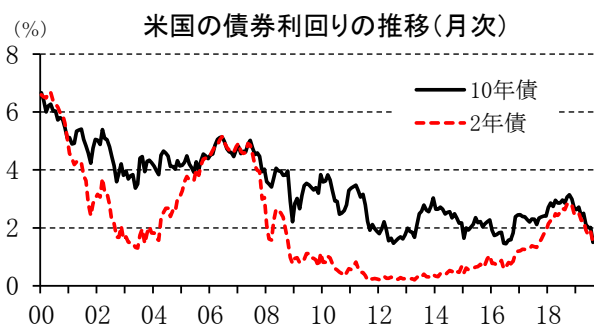
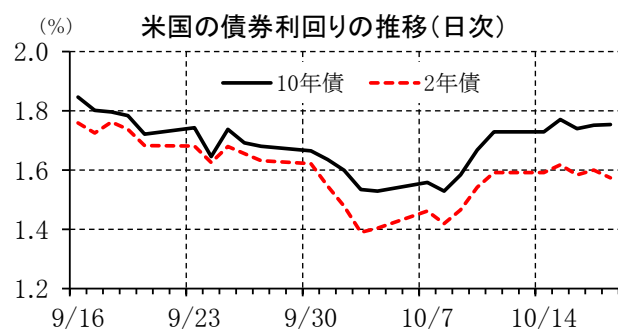
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

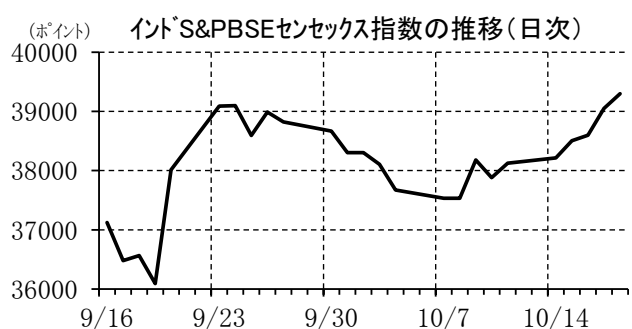
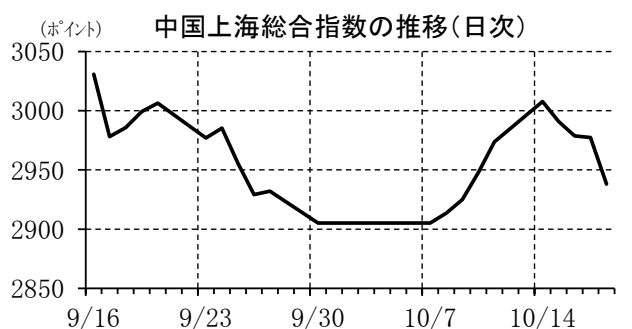
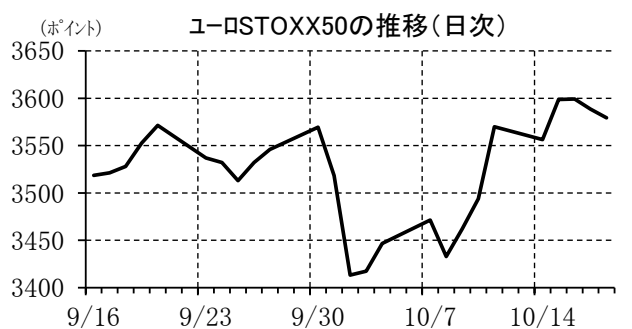
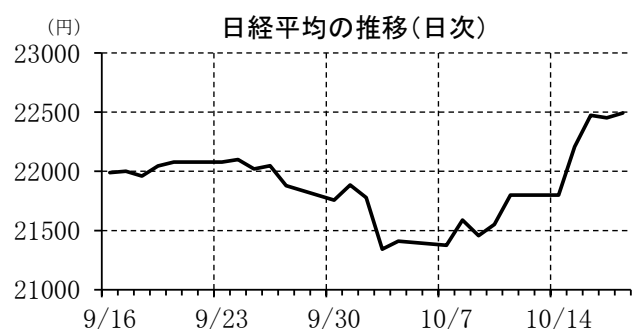
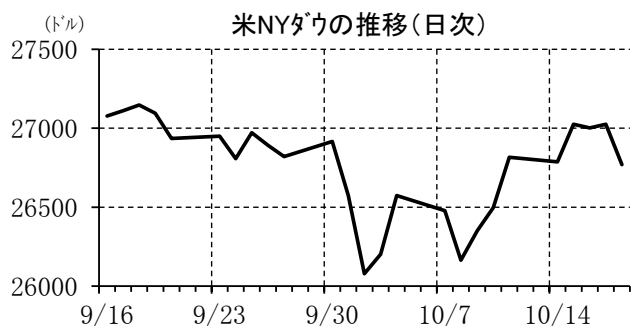
発表日	イベント	注目度	備考
10月21日(月)	カナダ：総選挙		
10月22日(火)	日本：祝日		
10月23日(水)	—		
10月24日(木)	—		
10月25日(金)	ユーロ：仏中銀総裁講演		
10月26日(土)	—		
10月27日(日)	アルゼンチン：大統領選挙	★★	

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

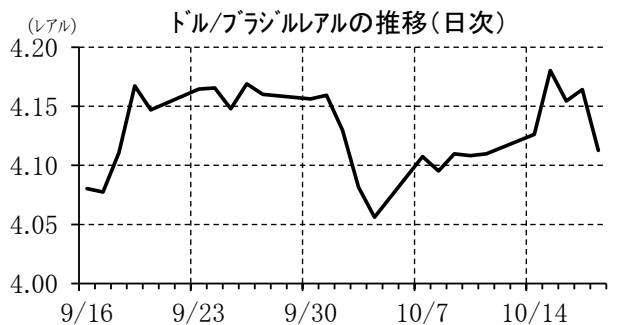
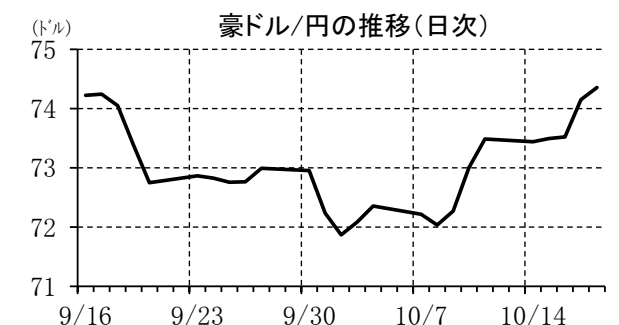
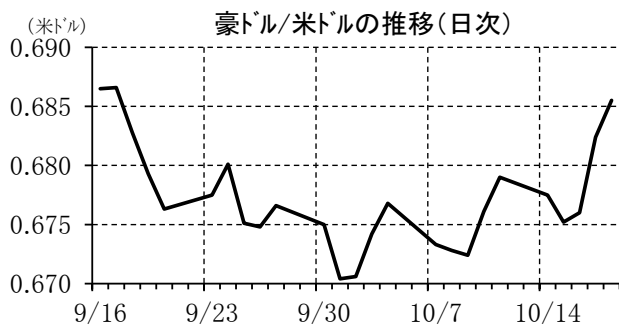
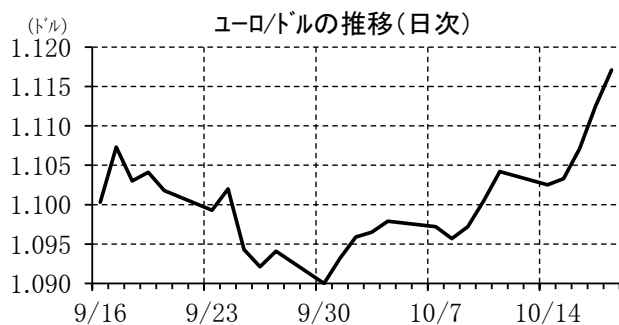
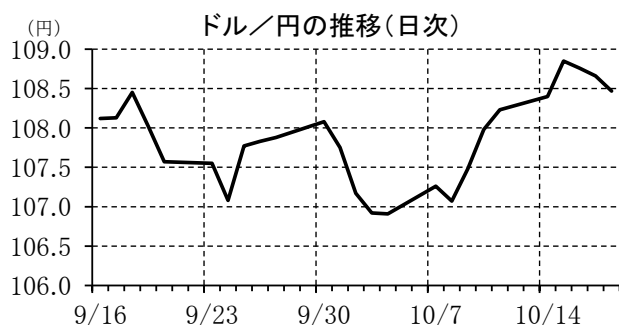
【債券利回り】



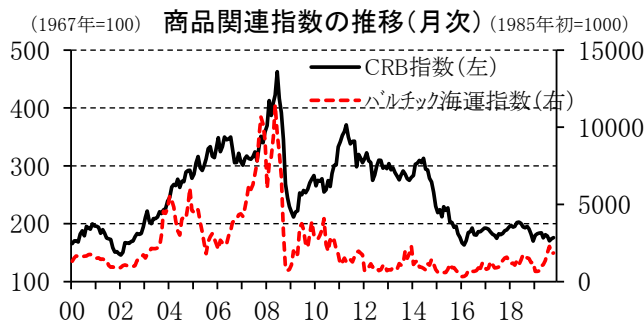
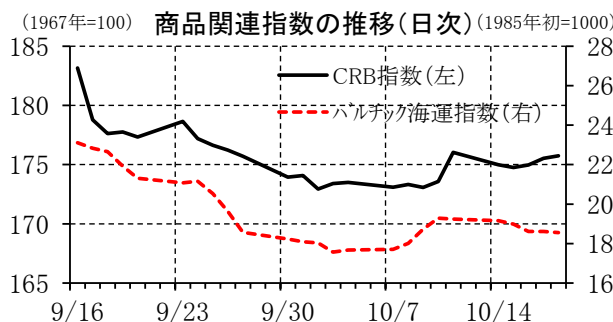
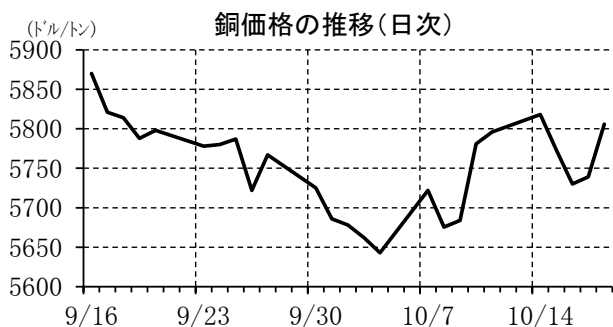
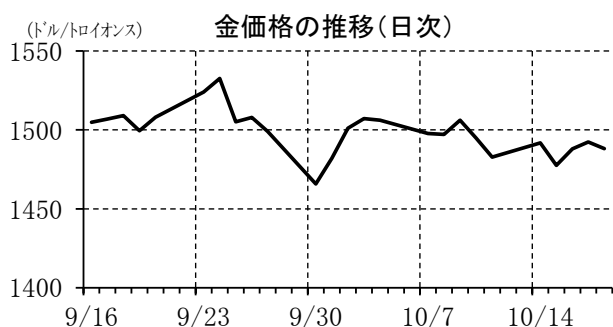
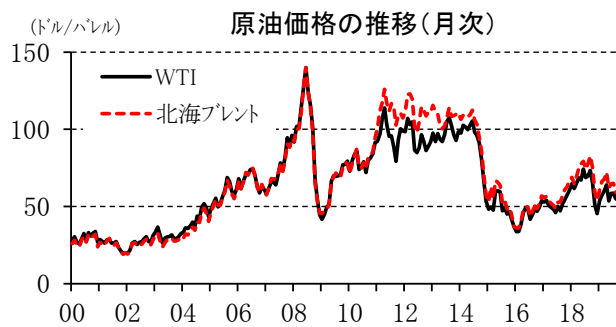
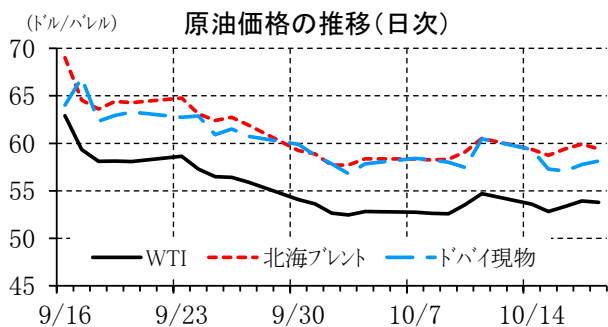
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。